

公共事業事前評価調書(平成 22年度予算要望)

所管課: 港湾課

担当班: 計画調査班

事業名	本部港環境整備事業		事業区分	港湾事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	本部港本部地区					
事業の諸元	緑地 A=9,800m <sup>2</sup>					
事業の概要	本部港本部地区は、伊江航路や鹿児島航路が毎日就航し、北部地域の玄関口として機能している。また、隣接するダイビングスポットは、ビーチからエントリー出来る数少ないポイントであり、初級者から上級者までの幅広い層に利用され、冬場でも比較的穏やかな海象のため、年間を通して多くのダイバーが利用している。よって、玄関口としての魅力向上や海洋性レクリエーション活動支援のため、緑地、駐車場、トイレ等の施設を整備する。					
事業の必要性・効果等	<p>《必要性》 本部港本部地区は、年間を通して多くのダイバーが利用しているが、駐車場が整備されていないため、周辺の道路に路上駐車する車両も多くある。そのため、緑地、駐車場、トイレ等の整備を行う。</p> <p>《効果》 当事業を行うことにより、北部地域の玄関口としての魅力向上が図られ、また、海洋性レクリエーション拠点としての機能が強化され、港湾の魅力向上が期待できる。</p>					
事業期間	事業採択	平成 22年度		完了(予定)	平成 23年度	
全体事業費	6.7	(億円)	補助・単独の別	補助	補助率	6/10, 4/10
費用対効果	B/C = 1.54	総便益: B	189 (億円)	総費用: C	123 (億円)	基準年 平成 21年度
		① 輸送コスト削減便益 ② 利用環境改善便益 ③ 台風対策による便益 ④ その他		① 事業費 ② 維持管理費		
事業着手の熟度・上位計画との整合性	第3次沖縄県社会資本整備計画に位置付けられている。					
環境への配慮	環境調査を実施しており、周辺環境への影響は軽微であることが確認されている。少数の希少種の存在は確認されているが、事業の実施にあたっては影響が少なくなるよう努める。					
関係する地方公共団体等の意見	本部町より、整備に対する要請がある。					
概要図(位置図)						